

グリーンバレー神室に関する今後の方向性

グリーンバレー神室は、振興公社で運営するホテルシェーネスハイム金山とホットハウスカムロ・町直営の神室スキー場とキャンプ場から構成されており、これらの運営については町から指定管理料など一定の財政負担を行い運営している。現在の町財政を取り巻く環境に考慮し、グリーンバレー神室全体の今後の方向性について検討している。

【町から提案のあった3つの案】

- ①温泉施設を一部改修し、ホテルやスキー場など現在ある全ての施設を継続運営する
- ②温泉は一部改修し、スキー場経営は民間に委託(または廃止)する
- ③ホテル・レストランを現行制度のまま運営し、温泉とスキー場は令和5年で営業を終了する

<主な検討事項>

- グリーンバレー神室全体の運営については、年間7千万から8千万の財政負担が必要となっており、町財政を圧迫させる一つの要素となっている。
- ホットハウスカムロについては、平成4年にオープンしてから約30年が経過しており、木造建築の為、全体的な改修や建て替えが必要となっている。
- 令和7年度には東北中央自動車道「新庄金山道路」が開通する予定となっており、町の活性化が見込める施設の一部をこのタイミングで廃止にしてよいのか。
- 改善すべきところは改善しながら、年次ごとに計画性を持って事業の取捨選択を行うべきではないか。
- 温泉とスキー場を廃止にする場合、ホテル・レストランへの影響も多大であり、共同出資者であるJR東日本との調整をどのように行うか。

●グリーンバレー神室関連の会議及び検討委員会等

<議会全員協議会>

期 日	内 容
R3. 6. 8	ホットハウスカムロ再建に係る説明
R3. 7.28	運営改善コンサルティング業務の最終報告
R3.11.19	ホットハウスカムロ現地視察
R3.11.24	ホットハウスカムロに関する検討状況報告
R3.12. 8	今後の方針(案)の説明
R3.12.10	今後の方針(案)の説明及び意見交換
R4. 1.13	今後の方針(案)の説明及び意見交換

<議会活性化・財政健全化特別委員会>

(R4. 1.20) グリーンバレー神室に関する調査・研究

<グリーンバレー神室検討委員会>

(※議会からは議員5名が検討委員として参加)
 (R3.10.22) 第1回グリーンバレー神室検討委員会
 (R3.12.27) 第2回グリーンバレー神室検討委員会
 (R4. 2. 3) 第3回グリーンバレー神室検討委員会

※グリーンバレー神室に関する検討・意見交換等は、今後も継続実施していく予定。



ホットハウスカムロ現地視察の様子



新たな方向性を探索中のグリーンバレー神室

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、穏やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、今年も寅年ですが、同時に「壬寅」(みずのえとら)という六十年に一度の特別な年だそう。「壬寅」(みずのえとら)は、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起の良さを表しており、新たなことに取り組む縁起の良い年とされております。

今、我が町は大きな節目を迎えようとしております。令和四年度からの小学校統合、中央公民館の機能移転、グリーンバレー神室全体の今後の方向性等々、様々な判断が迫られている状況であり、これらについては、町の各種検討会に議員も参加し、将来、希望と誇りを持って住み続けたいと思える金山町の姿を想像し、検討しているところでございます。

金山町は、大正十四年一月一日に町政を施行し、令和七年度末をもって百周年を迎えます。

いみじくも、令和七年度は東北中央自動車道「新庄金山道路」が開通される予定であり、金山町の更なる可能性が拓ける年とも言えます。

この可能性に備える意味でも、新しいことに取り組む決断と判断力が求められます。

長引くコロナ禍で、ふさぎ込みがちになりますが、このように時だからこそ将来に希望を持って乗り越えることが大切だと信じています。

何より町民・行政・議会が一体となり、ピンチをチャンスに変える年にして行かなければなりません。

結びに、町民ひとり一人が元気で明るく、金山町全体が将来に希望が持てる第一歩を踏み出せる年になりますようご祈念申し上げます。

令和四年一月吉日

金山町議会議長 矢口政一

新年のごあいさつ
 「将来に希望が持てる金山」



後列左より 星川智子議員 須藤典夫議員 沼澤道也議員 中村忠行議員 大場洋介議員
 前列左より 栗田保則議員 柴田清正議員 矢口政一議員 早坂憲明議員 寒河江宏一議員